



患者さんの希望書

もしもの時の医療について

“もしも”治らない病気になったら
“もしも”自分の気持ちを伝えられなくなったら
あなたは どうやって気持ちを伝えますか？



この希望書はあなた自身が“もしも”に備えて、
元気なうちに医療について、いま思っていることを
残しておくものです。

あなたのご家族や大切な人と一緒に話し合い、
この書類に記入して下さい。考えたくない方や
自分で伝えられない方は記入する必要はありません。

気持ちは変わります。担当の医師や看護師も含めて、
くり返し話し合しましょう。

書類作成のお手伝い・ご相談窓口

聖隷横浜病院 看護相談室・医療相談室 045-715-3111 (代)

終末期医療に対する患者さんの希望

「終末期になった時の医療の希望について」の説明

① 心肺蘇生

- 心肺蘇生とは死が差し迫った時に行われる心臓マッサージ、気管挿管(口や鼻から気管にチューブを入れる)などの医療行為をいいます
- 心臓マッサージをすると、心臓が一時的に動き出すことがあります
- 気管挿管の場合、必ずしもすぐに人工呼吸器を装着するわけではなく、多くの場合、手動のバック(アンビューバック)を連結して医療従事者が呼吸補助します。この行為により、一時的に呼吸が戻ることがあります

② 昇圧剤や輸血

- 昇圧剤は、急な血圧低下が起こった際に血圧をあげ、心肺機能を維持します
- 血液中の赤血球や蛋白質成分が少なくなった時に、その症状の改善を図るために輸血を投与しますが、終末期の場合はメリットより副作用が多いこともあります

③ 胃ろう・鼻管からの栄養補給

- 胃ろうとは、流動食をおなかから直接通したチューブで送り込むことです
- 鼻管とは、鼻から胃の中にチューブを挿入し、流動食を送り込みます。手術の必要はありませんが、鼻やのどに違和感があります。定期的に交換をする必要があります
- 胃ろうや鼻管では、常に栄養補給ができます。しかし、終末期の状態では栄養を十分に体内に取り入れることができないため、徐々に低栄養になります。また、栄養剤が食道から口の中に逆流して肺炎を合併することがあります

④ 点滴からの水分補給

- 腕からの点滴を投与することで、すぐに重度の脱水にならないようにできます。栄養はほとんどなく、次第に低栄養が進行します。このほかに太い静脈に点滴チューブを通し、より多くの栄養を持続的に入れる高カロリー輸液という方法もありますが、胃ろう・鼻チューブでの栄養補給のときと同様、終末期では徐々に低栄養になります。また、点滴チューブを介した感染症を起こすことがあります

終末期医療に対する患者さんの希望

終末期とは「生命維持処置を行わなければ、比較的短時間で死に至るであろう不治で回復不能の状態」を言います。

- 終末期医療に対する希望を表明したい人は、この書類にご本人が記載して下さい
- 自分で判断できなくなった時、ご家族や親しい友人はこの書類に書かれた希望を参考にします
- 身体や心の状態の変化によって気持ちは変わるものです。この希望はいつでも修正・撤回できます
- この書類は法律的な拘束力はありません
- 心身の苦痛を和らげる治療やケアは、どのような治療を選んでもご本人と相談しながら提供されます

1. 基本的な希望

① 終末期において大切にしたいこと（いくつでも選択できます）

- あらゆる手段をとって最期まで病気と闘う
- 積極的な治療は望まない
- どんな状況になっても一日でも長く生きたい
- 生活の質を落とさないことを第一に考えて治療したい
- ある年齢まで生きたら、あとはできるだけ自然にまかせ、医療処置は痛みを取るなど最小限のものにしたい

② 終末期を迎える場所について 病院 自宅 施設 病状に応じて

2. 終末期になった時の医療の希望

- ① 心肺蘇生 してほしい してほしくない 今は決められない
- ② 昇圧剤や輸血 してほしい してほしくない 今は決められない
- ③ 胃ろう・鼻管からの栄養補給 してほしい してほしくない 今は決められない
- ④ 点滴等による水分補給 してほしい してほしくない 今は決められない
- ⑤ その他の希望

[]

3. ご自身で希望する医療が判断できなくなった時、主治医が相談すべき人はいますか

- いる いない



① その人は誰ですか お名前： _____ ご関係： _____

② その人に自分の希望を伝えていますか？ 伝えている 伝えていない

記載日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者さんのお名前： _____ (代筆： _____ ご関係： _____)

患者さんの生年月日：大正・昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

医師： _____ 同席者： _____